

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 9日

事業所名 障害児通所支援事業 ふらわーず

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	5	1		・法令を遵守したス ペースを確保してい る。	・定員10名だが、利用人数が多い場合、発達段階、年 齢等に分けグループ活動を行うなど、工夫している。
	2	職員の配置数は適切である	5	1		・法令で必要とされて いる配置数に加え、 保育士、又は、児童 指導員を配置してい る。	・毎日の職員配置は、4～5名としているが、急な会 議・研修等で職員人数が減った場合、第一に利用者の 安全を確保し、活動内容等の変更を行って対応。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	1	2	3	・階段が多く、風呂・ト イレは狭い。	課題)手すりなどの設置はあるが、重度の障害のお子 さんを預かるだけのバリアフリー化は出来ていないし、 それだけの事業所のスペースを確保することは、難し い ⇒改善点:今の所、重度のお子さん の受け入れに関しては、保護者に見ていただいた上 で、事業所を選んでいただいている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	4	1	1	・ミーティングを行 いながら、全職員の 意見を反映。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	5		1	・父母会において、保 護者に説明を行う。 前年度は、事業所評 価結果を全保護者に 配付した。	・自己評価もだが、事業所の活動については、その都 度、アンケートを行い、保護者と内容の共有を行って いる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5		1	・HPIにアップして公開 している。HPを見ら れないご家庭の為 に、事業所評価結果 を印刷して各ご家庭 に配付している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	2	2	2	・外部評価は行って いない。	・今後の検討課題。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	6			・年に2～3回、事業 所で独自の研修を実 施。また、事業所外 の研修も積極的に参 加している。	課題)今年度は、朝からの不登校児の受け入れ等で、 事業所内の研修が2回となってしまった。 ⇒改善点:次年度は、事業所内の研修を年度初めに 設定し、保護者に同意して頂きながら、開所時間の 変更をしながら研修の確保をしていきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6			・年に2回、個別支援 計画を作成し、面談 を行っている。その 中で、子どものニーズ と保護者のニーズを 拾い上げ、再度、個別 支援計画の見直しを 行っている。	
適切な 支援の提	10	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用 している	5		1	・独自のアセスメント ツールを作成し、使 用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行って いる	5	1		・事業所のミーティ ングの中から、活動 内容を出し合い、細 かい流れについては、 各担当に任せ役割 分担をしている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫 している	6			・月の予定表を作成 し、活動を行って いる。	・年度末に次年度の利用希望と一緒に保護者の方 にも事業所の活動に関する希望調査を行っている。そ こに上がった活動も取り入れながら、家庭、事業所が 連携しながらお子さんの支援に取り組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をき め細やかに設定して支援している	5	1		・平日、土曜日、長期 休日と予定表を作成 し、細かく設定した 活動を行っている。	・長期休暇に行く宿泊学習に向けて、一人一人のお 子さんの状況に合わせ、目標を設定し、クラス編成 を行いながら全員が目標に向かっていけるように支 援している。また、発達に応じて【自立】を目指した 活動の取り組みを行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせ放課後等デイサー ビス計画を作成している	5	1		・お子さんのニーズ に合わせた個別活 動、集団活動を行 っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		・集団活動(レクリエーションなど)の流れを職員間で読み合わせし、共通理解のもと、活動に取り組んでいる。	・職員間の役割分担をしっかりと行い、活動においては、チームで行う意識をもって取り組んでいる。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	2	・支援した当日でなく、次の日に行っている。	・課題)日々の支援についての振り返りを常勤の職員で行っているが、今回の自己評価アンケートでパート、アルバイトの職員より、自分たちは行っていないとの回答があった。 ⇒改善点:パート、アルバイトの職員が一緒に入った振り返りを今後、入れて行きながら、支援の質を上げていくことに努力していきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		・日々の支援記録を徹底し、支援の検証・改善に繋げている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		1	・年に2回、モニタリングを行い、保護者には、面談でその旨を伝えていく。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5		1	・職員間でガイドラインの読み合わせを行い、支援に反映させている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6			・サービス担当者会 議には、児童発達支 援管理責任者とその 子どもの担当も一緒 に参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	6			・各学校との情報の 共有は、忠実に引っ ている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	5	1		・看護師常駐でない ため、現在、受け入 れが難しい。	・今後の検討課題。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4	1	1	・保育所等への送迎 の際、情報の共有を している。また、会議 などへは、積極的に 参加し、他事業所間 との連携に努めてい る。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	4	1	1	・まだ、卒業生がいな いため、実施してい ない。	・今後、卒業生へのフォローアップを行う予定。また、 移行する利用者がいた場合、情報提供・連携・卒業後 の見守りは行って行く。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	5	1		・児童発達支援セン ターや発達障害者支 援センター等の研修 に、職員を積極的に 参加させている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	1	・活動の中で、地域 の児童館利用などを 行っているが、事業 所が計画しての交流 活動は、まだない。	・今後、利用者と共に、地域の活動に積極的に参加 し、事業所発信の催しへと発展させていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	3		3	・連絡があった場合、 積極的に参加してい る。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5	1		・連絡帳を作成し、そ の日の出来事を細か く伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	2	1	3	・保護者に対して、外 部でのペアレント・ト レーニング研修等有 る場合は、案内を 出している。	・ペアレント・トレーニングの研修案内を提供してい るが、通常、保護者とのコミュニケーションを大切に し、一緒に対応の仕方について考えている。また、お 子さんの日々の振り返りをしながら保護者と一緒に 対応も変えている。
保護者への 説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6			・契約時に説明。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	5		1	・送迎時や連絡帳に て把握し、必要に応 じて話を聞く機会を 設けるようにしてい る。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	5		1	・子ども達の活動報 告と年間の行事予定 など、父母会を開催。 保護者同士のライン も作っている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6			・苦情受付担当者を 設けて適切に対応し ている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5	1		・毎月の予定表の他 に、HP、「[ふらわー ず]だ・よ・り」を不定 期に配布し、情報発 信している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
H 等	35	個人情報に十分注意している	6			・職員に関しては、事業所入社時に、【誓約書】を交わし、「個人情報事業所以外に持ち出さない」。「辞めた後も同様である」など、徹底している。事業所のデータについても、事業所外での使用を禁止している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1		・個々の障がいの程度に合わせた配慮を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	3	・地域の児童館利用や催しへの参加はしているが、事業所から地域へ発信する行事は、まだ行っていない。	・地域の方々を招待するするまでには、至っていないが、まずは、事業所の活動で地域に出向く事を増やし、知っていただくことを優先にしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	2	・平成31年3月に緊急時対応マニュアル等を設置。年度初めで、保護者には配付している。	・課題)緊急時対応マニュアルを設置したが、今回、パート、アルバイトの職員より、設置しているかの有無すら知らないとの声が上がった。⇒改善点:パート、アルバイトの職員も周知できるように、誰もが分かる場所への緊急対応マニュアルの掲示やミーティングでの確認作業を行いながら、周知徹底を行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			・年に2回、避難訓練を行っている。 ・現在までに【地震・火災・不審者】の避難訓練を行った。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		1	・事業所内研修を行い、職員同士共通理解をしている。 ・事業所外の虐待防止の研修も交代で受講。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	1	・事業所内研修で、身体拘束についての理解は、全職員出来ている。 ・今の所、身体拘束が必要な利用者は、いない。	・今後、必要なお子さんに関しては、契約時に身体拘束についての同意書を検討していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	1	・保護者からの連絡があった場合、対応(契約時に確認) ・保護者より要望のあった場合のみ配慮(アレルギー児のみ、医師の指示書提出をお願いしている)	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		2	・ヒヤリハットノートを作成し、いつでも職員が共有できる状況にしているが、事例集は、作成していない。	・課題)ヒヤリハットノートを作成し、いつでも確認できる場所に置いているが、今回、パート、アルバイトの職員より、設置しているかの有無すら知らないとの声が上がった。⇒改善点:パート、アルバイトの職員も周知できるように、全体のミーティングを行いながら、置いている場所の確認+今までのヒヤリハットの確認作業を行いながら、周知徹底を行う。